

ほとけの 混和会だより

平成二十四年十二月
東光院
仏の混和会
第93号



画 天台宗ハワイ別院住職 荒了寛筆

「篤く三宝を敬え」と
聖徳太子様は
言われました。

聖徳太子様は、仏教の教えを以て日本の国を納めようと、十七条憲法を制定されました。その第一は「和を以て貴し」と謳い、第二に、「篤く三宝を敬え」と言っております。三宝とは、仏、法、僧、の事を言い、インドの言葉で、ブツダ、ダルマ、サンガ、と言います。

仏教を信仰する上に置いて、此の三宝に帰依する事は、最も尊い事であります。



ねえねえお坊さん、仏さまって「ブツダ」の事を言ってるの？



そうなんじゃ、ブツダを仏陀と書いて、その仏を「ほとけ」と読んだのじゃ、仏様とはブツダの事を言ってるのじゃよ。

「ブツダ」とはね、インドの言葉で、大自然の真理に目覚めた人、覚者と言い、大きな慈愛心を抱いた、完成された人間を意味するのじゃよ、その完成された人間が、お釈迦様なんじゃ。

私達も、この世に於いて、毎日の生活を修行と思つて精進を重ねれば、大きな慈愛心を抱く仏、「ブツダ」になれるんじやよ。又大自然、大宇宙も仏と言つたり、如来と言つたりするのじゃ。

へー、僕も仏になれるんだ、それじゃ「法」てどういうことなの？



法とはね、ブツダの教えを意味して、真理そのものなんじや。法と言う文字は「シ」さんずいに去ると書いてあるでしょう。

水を表す、さんずい、その水は海水が蒸発して雲に成り、大地に雨と成つて降り注ぎ、山から川へ、川から海へと流れ、様々な命を育みながら、高いところから低いところへと、とどまること無く去つて行く。

この大自然の、あるがままの姿、そのものがブツダの教えなんじや。だれも覆すことの出来ない、この大自然の営み、この真理の懐に抱かれ、私達は生かされているのじゃ。又この無常の真理に外れて生きる事は出来ないのじゃよ。海水から蒸発した当初は、汚れ^けの無い清らかな水なのだが、次第に世間の垢に染り、汚い水と成つてしまふ。私達も同じく世間の垢に染まり、迷いと苦しみを作つてしまふのじゃが、ブツダの慈愛心は、どの水も、分け隔て無く受け入れて、浄化して下さるのじやよ。ちよつと難しかったね！

ううん？ 大自然の営みの教えに、僕達の心も浄化されると言うことですか？ それでは「僧」とはどういうことなの？



僧とはね、僧侶の僧と書くけれど、お坊さんの事だけを言つて居るのでは無いのですよ。

インドのサンガと言う言葉を「僧衆」と漢字に訳したのだけれど、ブツダの教えの元に集い、精進する仲間とか、グループ、教団を意味しているのじやよ。

私達は一人では生きて行かないから、共に許し合い、助け合いながら、ブツダの教えを学び、共に他の幸を願う環境をサンガと言い、漢字に訳して「僧衆」と言い、略して「僧」と言つたのじやよ。

今はね、それぞれに己だけの幸を願つて居るから、このような孤独社会に成つてしまつたのじや。この三宝の懐に抱かれ、生かされている事を、敬い感謝の念を抱く事によつて、生きる事の指針も、喜びも見いだせて来るのじやよ。このサンガを築く事が、お坊さんの使命なんじや。来年は少しずつ形にして行くからね。

十二月一日
托鉢を行いました。



天台宗では、毎年十二月一日を「全国一斉托鉢」の日と定め、全国で僧侶や檀信徒が一丸と成り、托鉢の実施をしております。今年も地元の住職さん十五人の参加を頂き、印西市小林地区を回らせて頂きました。

「慈愛の心で助け合い」とスローガンを掲げ、皆様からお預かりした、善意の御心を社会に施し、この社会が共に生きる、お浄土と成るよう、勤めさせて頂きました。

今年のおそばは、大豊作でした



皆様のご奉仕、誠にありがとうございました。お陰を持ちまして、今年も台風の被害も少なく大豊作と成りました。仏教は、ご縁の宗教と言われております。皆様と共に、慈愛の種を蒔いた事が「善因」と成り、収穫作業等が「良縁」と成り、そして「善果」として、安心に満たされ、共に幸の念じ合える、お浄土が、この世に築かれて行きます。今後、皆様の「善因」が無にならないよう勤めて参りたいと存じます。 合掌

共に生きる ほとけの家族



「就職が決まりました。」
大津恵子

先日、大津様より、嬉しいお便りを頂きましたので、ここに、ご紹介致します。

皆様にご心配をおかけしましたがお陰様で無事に近所のデイサービスに就職が決まりました。十月九日より週三回働き始めております。施設長さん始め、職員の方々がとてもやさしいので、ここに就職できてよかったです。

皆様には甘えすぎないよう、に、わからない事は聞いて、仕事を確実に覚えていきたいです。名前を覚えるのが大変ですが、なによりも利用者が、けがをしないようにする事が大切だと教わったので、焦らずに行動したいと思っております。

がんばり過ぎないように、長く続くように働いて行きたいです。色々、ご声援を頂き、ありがとうございました。よかったですね、一歩一歩、共に歩んで行きましようね。

境内清掃奉仕のお願い

暮れの境内の清掃を執り行いたいと思います。もし、都合が付きまならご奉仕お願いします。

日時 12月23日(日曜日) 午前9時～12時の間に
都合の良い時間で、お願いします。

〒270-1345 千葉県印西市船尾 622-1
東光院
電話 0476-46-2471